

高温に対する農作物等の技術対策

平成30年5月14日
埼玉県農林部

5月10日気象庁発表の高温に関する異常天候早期警戒情報によると、関東甲信静地方では、5月15日頃からの約1週間はかなりの高温になることが見込まれています。高温による農作物等への被害を軽減するため、次の技術対策を行ってください。

また、同日発表の1か月予報によると、5月12日からの1か月は気温が高い確率が80%と予想されています。今後の気象情報に留意し、農作物生育ステージに合わせた適切な管理に努めましょう。

水稲育苗

- 1 播種やほ場準備等の作業計画を見直して適期作業に努める。浸種時は水温上昇による芽の伸び過ぎに注意する。
- 2 換気や被覆資材で温度を調節する。特に育苗初期は床土の温度が30℃を越えないようにする。

麦類

- 1 収穫時期が早まることが想定されるので、赤かび病等の防除に使用した薬剤の収穫前日数に注意して収穫を行う。

園芸作物共通

- 1 大型ハウスは屋根やカーテンに遮光資材を展張するほか、細霧冷房や換気扇の利用、側面・妻面開放等により、施設内の温度上昇の抑制及び通風改善を図る。
- 2 雨除けハウス等簡易施設は、寒冷紗や不織布で遮光し、葉焼けなどの高温障害を防止する。
- 3 かん水は、立地条件や品目、生育状態等を十分考慮し、早朝又は夕方に実施する。
- 4 ハダニ類・アザミウマ類等、高温条件下で発生しやすい病害虫の早期発見に努め、的確な防除を行う。

果樹

- 1 カイガラムシ類の発生が早まっている。また、ハダニ類の発生も早まると予想されることから、発生初期に的確な防除を行う。

切花

- 1 朝・夕の気温の低い時間に採花し、常温で長時間放置しない。
- 2 エチレンによる劣化を防ぐため、前処理剤を使用し品質の維持に努める。

茶

- 1 チャノキイロアザミウマ類等、高温条件下で発生しやすい病害虫の早期発見に努め、的確な防除を行う。

畜産

- 1 畜舎は屋根・壁面に遮光・遮熱資材を塗布・展張するとともに、屋根散水や換気扇を利用し、施設内の温度上昇の抑制及び通風改善を図る。
- 2 畜体への送風や散水・散霧により、家畜の体感温度低下に努める。

日中等高温時の農作業は避け、作業中はこまかな水分補給と休憩を心がけましょう。

詳しくは、農林振興センター農業支援部に御相談ください。

農作業中の熱中症にご注意ください！

- 暑さに体が慣れていない時期の急な高温時に、農作業中の熱中症事故が多発しています。
- 暑さの感じ方は人により異なります。
高年齢の方は特に注意が必要です。



体温を下げるための体の反応が弱くなっており、
自覚がないのに熱中症になる危険があります。

のどの渴きを
感じにくい

汗をかき
にくい



暑さを
感じにくい

～熱中症予防のポイント～

通気性の良い服装と帽子



冷却グッズの活用※

(例)濡れタオル、
保冷剤をくるんだタオル等

こまめな水分・塩分補給



無理をせず、適度な休憩をとりましょう

ハウスや畜舎の換気



短時間の作業でも、側窓や天窓を
開放して風通しを良くしましょう

周りの人にも気配りを



1人作業の時は、必ず家族に
作業場所と帰宅時刻を伝えましょう

※タオルを首に巻いて機械作業を行う際は、作業機の回転部分に巻き込まれないよう、タオルの端を服の中へ入れ込むなどの対策をしましょう。